

# 平成 25 年度 NBRP-情報-運営委員会 議事概要

開催日時: 2013 年 12 月 18 日(水)14:00~16:05

開催場所: 情報・システム研究機構 会議室

出席者: 田畑(委員長)、荒木、川口、小林、鈴木、長村、成瀬、仁田坂、  
深海、細矢、矢口、城石、山崎、の各委員、綿貫(松沢委員代  
理)

欠席者: 増井委員

オブザーバー: 文部科学省ライフサイエンス課 中川原係長、同  
齋藤係員  
佐藤 NBRP 事務局長、NBRP 事務局員、国立遺  
伝学研究所 鈴木知的財産室長

事務局: 総務企画課長、研究推進チーム係

議事に先立ち、城石委員(NBRP 推進委員)から森脇和郎先生が 11 月 23 日にご逝去されたことについて報告があった。その後哀悼の意を表して全員で黙禱を行った。

## 【議事】

### 報告事項

#### (1)追加配分について

山崎委員から資料1-①に基づき、追加配分が決定した経緯及び内訳(遺伝研:1,783 千円)の説明があった。なお、ネットワークスイッチの購入、仮想サーバーの CPU、メモリ、ハードディスクの増強に使用した旨の報告があった。

#### (2)平成 25 年度の活動報告

##### 課題1:リソースデータベースの整備

山崎委員から資料1-②に基づき、以下の活動報告があった。

- 9/19に既知の脆弱性を突いた攻撃を受けたことによるホームページ改ざんについて
- 検索システムのサポートが終了し故障が発生しているため、次期検索システムを準備中
- 11月に再度脆弱性検査を実施、WAFを追加導入
- 昨年度の追加配分で購入したサーバーマシンにDBを移行
- データベースの月間利用状況

また、Web ページやデータベースの改良改善と総合化、全てのリソース機関との連携体制強化、広報活動について説明があった。

## 課題2:大型類人猿情報ネットワーク

松沢委員代理の綿貫研究員から資料2に基づき、以下の活動報告があった。

- 最新情報の追加・更新
- 各個体のゲノム・行動情報・形態情報の収集
- 個体情報の拡充と個体群管理
- 情報提供の国際化の推進
- 広報活動と成果公開

## 課題3:地球規模生物多様性情報機構の日本ノード活動

細矢委員から資料3に基づき、GBIF の背景について説明があった。また、ノード運営委員会の中にワーキンググループを設置、事務局を遺伝研から科博へ移動した旨の報告があり、以下の国内ノード3機関(科博、東大、遺伝研)における活動報告があった。

### 【科博】

- 自然史標本データ整備事業による標本情報の発信に関する研究会の開催
- 標本情報の電子化・データベース構築
- 国内コレクションデータベースの作成
- 研究員・学芸員データベースの充実

## 【東大】

- 種名チェックリストの作成
- 生物分布情報の収集・電子化
- 種情報システムとDNAバーコードシステム構築

## 【遺伝研】

- ポータルサイトの安定運用と利用促進
- GBIF データ登録・公開および各種サービスの更新

また、ワーキンググループ活動において「インドネシアとのメンタリングプログラム」を行い、生物多様性情報の収集や発信等のネットワーク構築についてのワークショップを開催し、一部が国際的にも評価されているとの報告があった。

## 課題4：NBRP 事務局の活動

佐藤 NBRP 事務局長から資料4-①に基づき、関係会議の開催実務、広報・普及に関する業務、プロジェクト推進のための支援業務について報告があった。

鈴木知財室長から資料4-②に基づき、名古屋議定書に関する説明があり以下の意見があった。

- NBRP のメリットは多くのリソースがあることなので、横のつながりを強化し情報を見えるようにしてほしい
- 名古屋議定書では、どこまでが遺伝資源かを判断するのが困難であり、提供国の体制も未整備であることから対応が難しい

また、文部科学省齋藤係員から、名古屋議定書あり方検討会の地方説明会を開催する旨の報告があり、周知の上積極的に参加願いたいとの発言があった。

## 審議事項

## (1)今後の活動計画

### 課題1:リソースデータベースの整備

山崎委員から資料1-②に基づき、システムの安定運用、データベースの改良改善と拡充及び総合化、広報・啓発活動について報告があった。

また、以下の意見があった。

- Bio Resource World について、NBRP 枠の中で国内のリソースを全て網羅するのは容易ではないかもしれないが、上位レベルで引き続き検討して欲しい。
- 生物多様性情報を適正に公開していくことは大変重要なことであり、特に原産国、移転、分離源などの情報が十分付いていて共有できることが大事である。しかし所在情報が悪用されない仕組みも考える必要がある。

### 課題2:大型類人猿情報ネットワーク

綿貫研究員から資料2に基づき、以下の活動計画について説明があった。

- 最新情報の追加・更新
- 各個体のゲノム・行動情報・形態情報の収集
- 個体情報の拡充と個体群管理
- 情報提供の国際化の推進

### 課題3:地球規模生物多様性情報機構の日本ノードの活動

細矢委員から資料3に基づき、以下の3機関における活動計画について説明があった。

#### 【科博】

- ワークショップ「21世紀の生物多様性研究」の開催
- 標本情報の電子化・データベース構築
- 標本のメタデータ、データベース作成

- 研究者・学芸員データベースの充実

#### 【東大】

- 種名チェックリストの作成
- 生物分布情報の収集・電子化
- 種情報システムと DNA バーコードシステム構築

#### 【遺伝研】

- ポータルサイトの安定運用と利用促進に向けた試み
- GBIF データ登録・公開および各種サービスの更新

なお、NBRP リソースデータ公開について、山崎委員から以下の発言があった。

- 既に公開している情報の中で GBIF に適応するものがあれば、ファイルを作成し公開していく
- GBIF が取り入れている多様性情報のフォーマットに合わせる作業をサポートしたい

#### 課題4：NBRP 事務局の活動

佐藤 NBRP 事務局長から資料4-①に基づき、以下の活動計画について説明があった。

- 関係会議（推進委員会、運営委員長会議、Site Visit）の開催
- 広報・普及に関する業務
- プロジェクト推進のための支援業務

また、事務局のホームページリニューアルについては、来年度完成予定である旨の報告があり、NBRP 全体に共通する課題が発生した場合、解決するためのワーキンググループを設置したいとの発言があった。

鈴木遺伝研知的財産室長から資料4-②に基づき、啓発活動、情報発信、国内措置の検討についての活動計画の説明があった。また、大学への支援体

制強化について、より詳しい専門家を育成するための講習会、マネジメントについて支援していきたいとの発言があった。

## (2) その他

山崎委員から、本委員会委員の任期について、引き続き再任をお願いしたいが、交代や追加等意見をいただきたいとの発言があった。

最後に委員長から謝辞が述べられ閉会した。